



# 小学校 1・2年生 (1-1)

I 地震・津波を知る C 避難の必要性を知る 【学級活動 1時間】

## 1 目標

・津波とはどのようなものかを知り、すぐに高いところへ避難しなければならないことを理解する。

## 2 展開

	学習活動と内容 主な発問・指示 (◇)、予想される子どもの反応 (・) など	指導上の留意点 支援 (○)、評価 (☆)、参考 (●) など
導入	<p><b>1 津波について学習することを知る。</b></p> <p>◇津波とは、どのようなものかを知っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家も車も流してしまうほどの大きな波</li> <li>・東日本大震災で起きた波</li> <li>・地震が起きた時に来る波</li> </ul> <p>◇これから、「いなむらの火」を読みます。</p>  <p>【参考資料】「紙芝居 いなむらの火」</p> <p>◇村の人たちは、どこへ逃げて助かったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いなむらの火をめがけて登っていった。</li> <li>・高いところへ登っていった。</li> </ul> <p>◇津波から命を守るために、どうしたらよいかを考えましょう。</p>	<p>○地震が起こった時に、津波が来る場合があることを知らせる。</p> <p>○「いなむら」とは、どのようなものかについて知らせておく。</p> <p>○津波の前には、必ずしも海の水が引くとは限らないことを知らせる。</p> <p>●紙芝居の代わりに、「津波防災啓発ビデオ『津波からにげる』(1:00)」を上映してもよい。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>学習課題『つなみから、いのちをまもろう。』</b> </div>		
展開	<p><b>2 津波から命を守るための避難行動について考える。</b></p> <p>◇これから、インドネシアで起こった地震による津波の映像を見ます。津波の様子と、そこにいた人々の様子についてよく見てください。</p>	 <p>【動画】チャプターB 津波映像の衝撃 ～スマトラ地震から学ぶ(4:00)</p> <p>○DVD チャプターB の途中(2分33秒)までを上映する。</p>

	学習活動と内容 主な発問・指示（◇）、予想される子どもの反応（・）など	指導上の留意点 支援（○）、評価（☆）、参考（●）など
	<p>◇津波や人々の様子はどうでしたか。気づいたことを発表しましょう。</p> <p>・家や車が流れていた。 ・ どんどん水が入ってきた。</p> <p>&lt;溺れそうになっている人&gt;</p> <p>・急に波がきたので、逃げる間がなかった人がいた。</p> <p>・バイクごと流されていた人がいた。</p> <p>・つかまっていたけれど、流された人がいた。</p> <p>&lt;うまく逃げている人&gt;</p> <p>・屋根の上に乗っている人は助かった。</p> <p>・このビデオをとっている人は、高いところにいた。</p> <p>◇海の近くにいる時に、もし、地震が起これたら、みなさんはどうしますか。ペア（グループ）で話し合しましょう。</p> <p>◇話し合ったことを発表しましょう。</p> <p>・地震が起きたらすぐに逃げる。 ・ 高いビルに逃げる。</p> <p>・海から離れた高いところに逃げる。 ・ 高い山に逃げる。</p> <p>・放送をよく聞いて早く逃げる。</p>	<p>○津波の威力に対して、人々がどのような様子であったかについて、発表させる。</p> <p>○溺れそうになっている人とうまく逃げている人がいることを気付かせる。</p> <p>○浅くても津波の水の流れが強くと、流されてしまうことをおさえる。</p> <p>●より具体的にイメージを持たせるため、「【動画】特別映像 津波防災最前線 津波力実践 (1:00)」を上映してもよい。</p> <p>○助かった人はどこに逃げていたのかを考えさせる。</p> <p>○紙芝居（絵本）では、主人公が、すばやく判断し、村人を高いところに迅速に避難させたことを思い起こさせる。</p> <p>○少しでも早く、高いところへ、避難することが大切であることをおさえる。</p>
ま と め	<p><b>3 津波の学習をして、わかったことを確認する。</b></p> <p>◇ワークシートに、学習して気付いたことやわかったこと、地震がおこったらどうすればよいかを書きましょう。</p> <p style="text-align: center;"><b>【ワークシート-11】を配付</b></p> <p>◇まとめたことを発表しましょう。</p>	<p>●1年生の早い時期に実施する場合には、ワークシートへの記入でなく、感想の発表だけでよい。</p> <p>☆津波から命を守るためには、すぐに高いところへ避難しなければならないことを理解することができたか。</p>

### 3 備考

- ・1年生での学習を推奨（2年生で学習してもよい）。
  - ・参考資料として挙げている紙芝居は、各学校にあるものを活用する。
  - ・時間の確保が可能であれば、より理解を深めるため複数回に分けて学習に取り組んでもよい。
- 例：「導入」、「展開」、「まとめ」でそれぞれ1時間ずつ、計3時間での学習

### 4 その他資料（出典）

- ・参考資料「紙芝居 いなむらの火」（出版：童心社 脚本：川崎大治 絵：降矢洋子）  
※参考資料となっている紙芝居は、防災用として作成されたものである。濱口梧陵をモデルにしているが、堤防を築いたところまでは語っていないものを取り扱っている。なお、この紙芝居以外にも、次のような絵本が出版されている。
- 「津波！命を救った稲むらの火」（出版：汐文社 原作：小泉八雲 文・絵：高村忠範）
- 「津波からみんなをすくえ！ーほんとうにあった「稲むらの火」ー」（監修：特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構  
企画・制作：和歌山県教育委員会 作：クニ・トシロウ 絵：ケイ・タロウ）
- ・関連映像「津波防災啓発ビデオ『津波からにげる』（企画・制作：気象庁 制作・協力：東映株式会社）